

’13 食博覧会・大阪 The International Food Expo UTAGE 2013 IN OSAKA ～テーマ「食の絆・食でつなごう日本と世界」～

2013年4月26日～5月6日の11日間インテックス大阪（国際見本市会場（南港）にて’13食博覧会が開催された。「大阪府・健康づくり課」からの依頼を受け、“食博・大阪府ブース・ステージイベント”を地域活動部会の3つの会と学校健康教育部会の理事が担当したので報告する。

テーマ「子どもたちに向けての食育」

5月1日：午前と午後の2回公演

1.いけだ地域栄養士会・葉菜の会

ペープサート劇「にんじんちゃちゃちゃ」

人参嫌いの子どもの残した人参がごみ箱で他の野菜にいじめられている夢を見て、かわいそうに思った子どもが、人参嫌いを克服するお話



2.岸和田フリー活動栄養士会

ペープサート劇「あさこちゃんのあさごはん」

朝ごはんを食べなくて元気が出ない子どもが、夢で食べ物たちに励まされて、朝ごはんを食べて学校へ行くお話



3.東大阪地域活動栄養士会

エプロンシアター「食べ物のゆくえ」

消化吸収をテーマに歯でよく噛むことによって体内での消化吸収がスムーズに行われ、健康的な排便を促すことが出来るという内容



4.学校健康教育部会 森下理事

「みんなで歌おう。米・豆・魚の歌」

日本人の日常食に欠かすことの出来ない伝統的な食材である米、豆、魚のそれぞれの生育過程や栄養価などをメロディーにのせ表情豊かに唄われた。



今回この栄養士の方々の熱演を拝見し、日頃の地域や学校での食育活動が思い描かれ、管理栄養士・栄養士が広く食育をはじめ、公益に関わる職業であることを再認識した。また平日であったため、本来の対象である子どもたちの姿は多くはなかったが、未就学児や乳幼児を連れた若いご夫婦や、お孫さんと思われる方の手を引いてステージをみて下さる方が何組がおられた。5月にしては肌寒い気候であったが、笑顔と温かい拍手に包まれ熱気があふれていた。

(文責 地活 小堀佳子)